

令和7年4月28日
オンラインカジノに係るアクセス抑止の在り方に関する検討会

ギャンブル依存症と オンラインギャンブルの 危険性について

国立病院機構久里浜医療センター精神科
松崎尊信

COI開示

国立病院機構久里浜医療センター
松崎 尊信

発表に関連して開示すべき
COI関係にある企業はありません。

久里浜医療センターについて



1941年 横須賀海軍野比分院として創立

1945年 厚生省に移管、国立久里浜病院へ

1961年 酒に酔って公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律施行

1963年 国立医療機関として初めてのアルコール専門病棟を設置

1989年 WHOアルコール関連問題研究・研修協力センター

2011年 インターネット依存専門診療開始（国内初）

2013年 ギャンブル依存専門診療

2017年 依存症対策全国センター(NCASA)開設

アルコール健康障害・薬物依存症・ギャンブル等依存症
依存症対策全国センター
National Center for Addiction Services Administration

フリーワード

ホーム 気づく 理解したい 気づいたらどうする? 制度・施策 海外の動き 支援者の皆様へ 調査・研究・啓発漫画など トピックス

迷いから、決断、そして回復までの道のりを包括的に支援する社会へ

トピックス

- 2025/2/6 **New**2月26日（水）18：30～20：30 厚生労働省 依存症の理解を深めるためのトーク&音楽ライブイベント 2025
- 2025/1/20 **New**2月6日（木）厚生労働省 薬物関連問題シンポジウム 「若者に広がるオーバードーズ」
- 2024/10/28 **New**独立行政法人国立病院機構久里浜医療センターで実施された「令和5年度 依存症に関する調査研究事業 ギャンブル障害およびギャンブル関連問題の実態調査」の報告書を公開しました。
- 2024/10/24 **New**11月15日（金）厚生労働省 アルコール関連問題啓発週間オンラインシンポジウム 「アルコール依存症が背景にある飲酒運転」
- 2024/10/10 **New**11月10日～16日はアルコール関連問題啓発週間です。アルコール・薬物と妊娠・出産・子育てに関するQ&Aを含む「こころの不調や病気と妊娠・出産のガイド」が公開されています。

全国の相談窓口・医療機関を探す >

自助グループのご紹介 >

支援者の皆様へ >

e-Learningで学ぼう
依存症の基本 依存症の支援

依存症啓発漫画

<https://www.ncasa-japan.jp/>

本日の内容

- ✓ ギャンブル依存症とは（診断基準）
- ✓ ギャンブルの種類
- ✓ 専門医療機関のギャンブル依存症受診者数
- ✓ オンラインギャンブルの危険性

ギャンブル依存症とは

診断基準

ギャンブル依存症とは

競馬法
自転車競技法
モーターボート競争法
小型自動車競争法

禁止

刑法185条賭博罪

偶然の勝負に関し、博戯または賭け事によって財物の得喪を決める行為をする罪

ギャンブル

価値のあるものを危険にさらし、より価値のあるものを手にいれる行為¹⁾。

ギャンブル依存症 (Gambling Disorder, ギャンブル行動症)

持続的かつ反復的なギャンブルによって、重大な苦痛または障害をきたす²⁾。

1) Potenza, M N et al. "Pathological gambling." JAMA vol. 286,2 (2001): 141-4.

2) American Psychiatric Association. *Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders* 5th edition (American Psychiatric Association, 2013).

ギャンブル依存症の診断①

⋮

F1 精神作用物質使用による精神および行動の障害

依存症

⋮

F6 成人の人格および行動の障害

行動の障害

⋮

F63 習慣および衝動の障害

他の項目に分類不能ないくつかの行動の障害

明らかな合理的動機のない、患者自身および他の人びとの利益を損なう反復的行為

F63.0 病的賭博

社会的、職業的、物質的および家庭的な価値と義務遂行を損なうまでに患者の生活を支配する、**頻回で反復する賭博**エピソード

自分の仕事を危機に陥れ、多額の負債を負い、嘘をついたり法律を犯して金を得たり、負債の支払いを避けたりする

賭博をしたいという強い衝動を抑えることが困難

賭博行為や取り巻く状況の観念やイメージが頭から離れなくなる

没頭や衝動は、生活にストレスが多くなると、しばしば増強する

診断ガイドライン

(a) 持続的に繰り返される賭博。

(b) 貧困になる、家族関係が損なわれる、そして個人的生活が崩壊するなどの、不利な社会的結果を招くにもかかわらず、持続し、しばしば増強する。

ギャンブル依存症の診断②

⋮

16 物質関連障害および嗜癖性障害群

物質関連症候群

⋮

非物質関連症候群

依存症

ギャンブル障害

- A. 臨床的に意味のある機能障害または苦痛を引き起こすに至る**持続的かつ反復性の問題賭博行動**で、その人が過去12ヶ月間に以下のうち4つ（またはそれ以上）を示している。
- (1) 興奮を得たいがために、賭け金の額を増やして賭博をする要求
 - (2) 賭博をするのを中断したり、または中止したりすると落ち着かなくなる、またはいらだつ
 - (3) 賭博をするのを制限する、減らす、または中止するなどの努力を繰り返し成功しなかったことがある
 - (4) しばしば賭博に心を奪われている
 - (5) **苦痛の気分**のときに、賭博をすることが多い
 - (6) 賭博で金をすった後、別の日にそれを取り戻しに帰ってくる人が多い
 - (7) 賭博へののめり込みを隠すために、**嘘**をつく
 - (8) 賭博のために、重要な人間関係、仕事、教育、または職業上の機会を危険にさらし、または失ったことがある
 - (9) 賭博によって引き起こされた絶望的な経済状況をのがれるために、他人に**金**を出してくれるよう頼む。

Problem Gambling（問題のあるギャンブル）

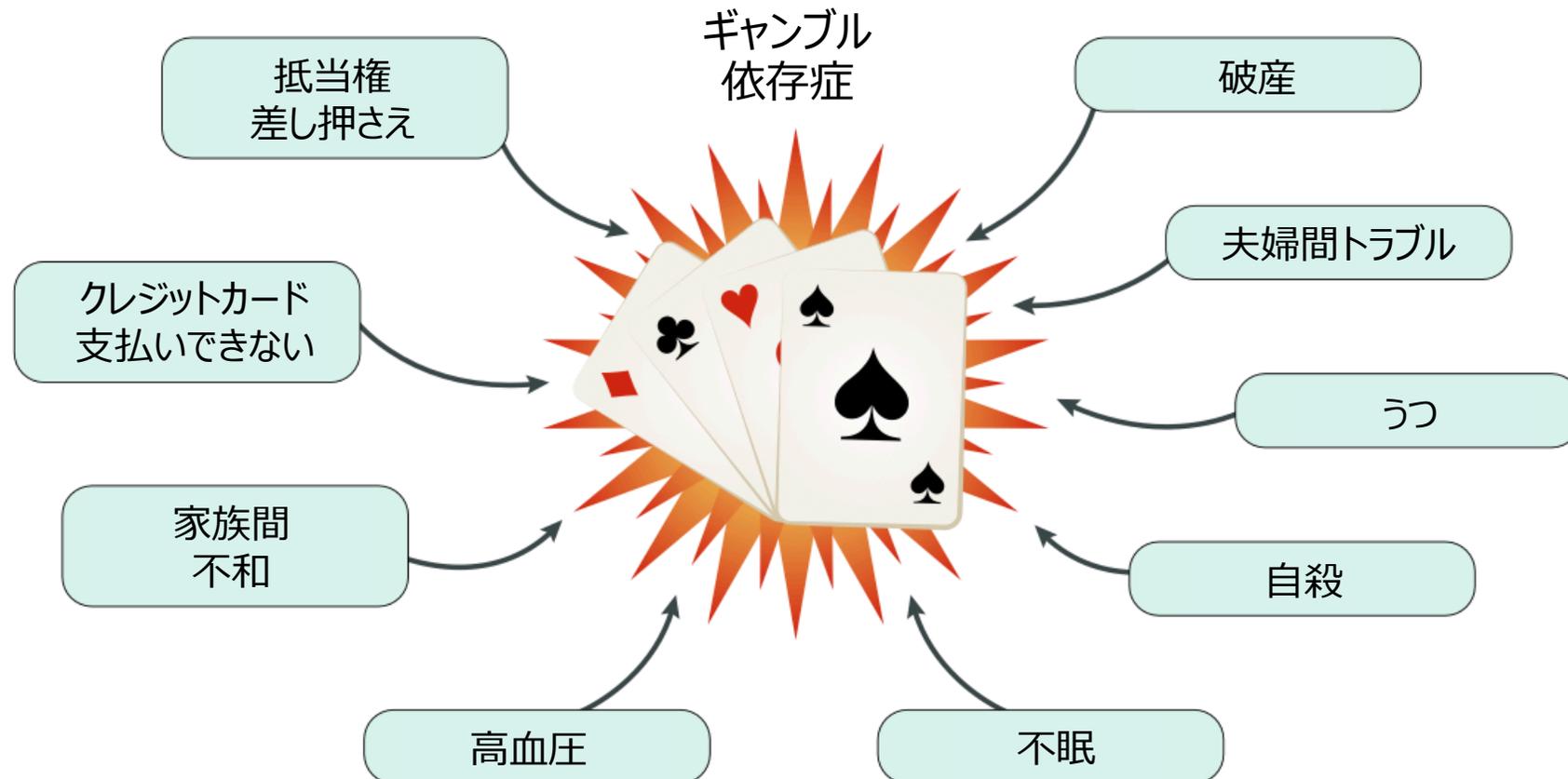
- ギャンブルによって、個人的、家族的、経済的、または職業的に複数の問題を引き起こしている状態。
- Problem Gambling Severity Index (PGSI)（世界各国でギャンブル問題の有病率調査に用いられている自記式のスクリーニング尺度）で8～27点。

Tran, L. T., et al., (2024). The prevalence of gambling and problematic gambling: a systematic review and meta-analysis. *The Lancet. Public health*, 9(8), e594–e613.

<https://sites.google.com/view/gambling-scales-japan/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0/pgsi-problem-gambling-severity-index>

ギャンブル依存症による生活への影響

経済的、社会的、心身の健康への影響



ギャンブルの種類

海外におけるギャンブルの一般的な形態¹⁾

- カジノ（テーブルベース、電子ベース）、宝くじ、インターネットギャンブルなど
- インターネットギャンブル、スマートフォンなどによる利用の増加²⁾
- 米国の特定の州ではスポーツ賭博が合法化³⁾

1) Potenza, Marc N et al. "Gambling disorder." *Nature reviews. Disease primers* vol. 5,1 51. 25 Jul. 2019

2) Gainsbury, S. *Internet Gambling: Current Research Findings and Implications* (Springer Science & Business Media, 2012).

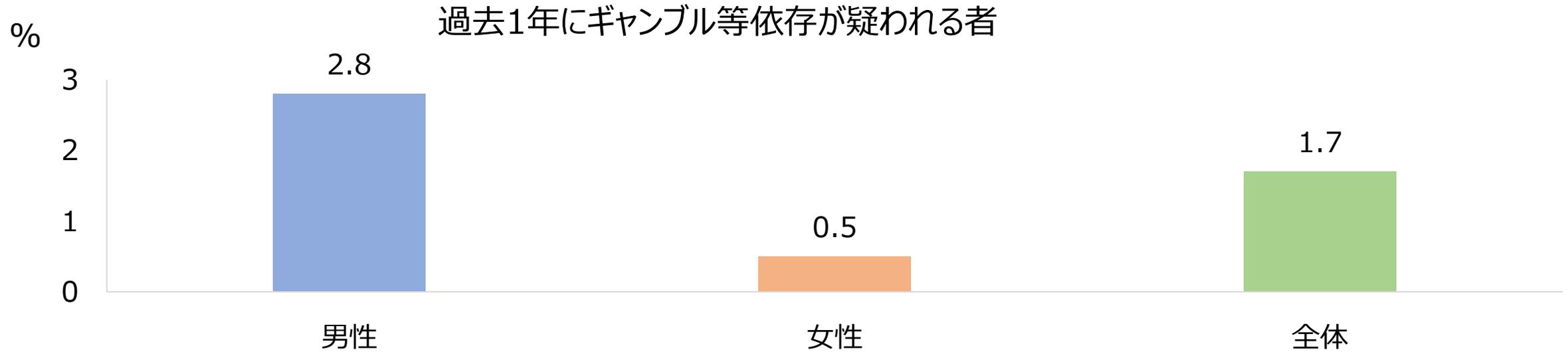
3) Rodenberg, R. United States of sports betting: an updated map of where every state stands. *ESPN* [http:// www.espn.com/chalk/story/_/id/19740480/gambling- sports-betting-bill-tracker-all-50-states](http://www.espn.com/chalk/story/_/id/19740480/gambling-sports-betting-bill-tracker-all-50-states) (2019).

インターネットギャンブル = オンラインギャンブルとは

- インターネット機器を通じて提供される賭け事。
- 時間や場所を問わず、自宅で行うことができる。
- 多額の賭け金、継続性、迅速な結果の通知、膨大な賭けに容易にアクセス可能となるため、過剰なギャンブルの原因となる可能性が指摘されている。
- インターネットに慣れ親しんだ若者の間で参加者が増加する可能性。

専門医療機関の ギャンブル依存症受診者数

日本におけるギャンブル依存症の有病率

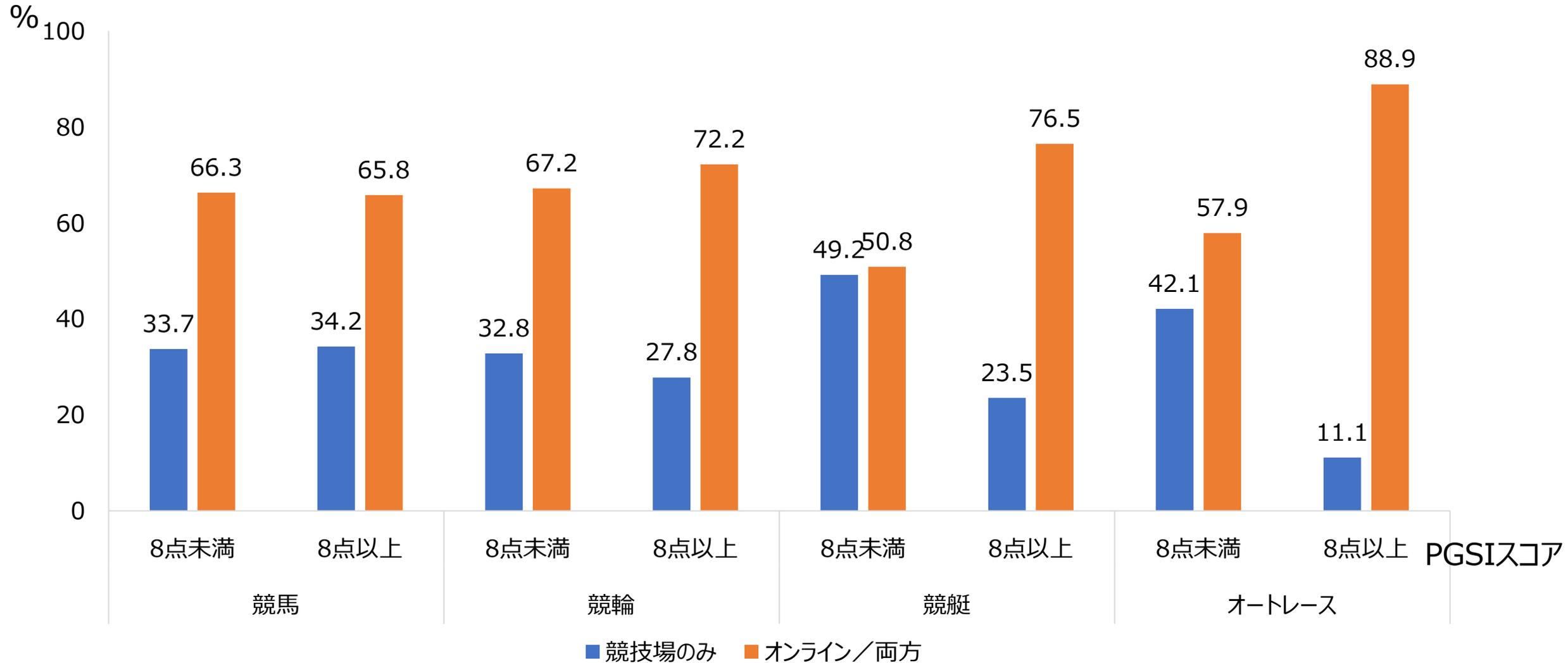


○調査対象：全国の住民基本台帳より層化二段無作為抽出一般住民18,000名（18歳～75歳）
○日程：令和5年11月1日～令和6年1月31日
○調査手法：自記式アンケート調査（紙回答・Web回答）
○有効回答：8,898票（49.4%）（男性4,204名、女性4,694名）

令和5年度「国民の娯楽と健康に関するアンケート」久里浜医療センター <https://www.ncasa-japan.jp/pdf/document97.pdf>

- 1) Shaffer, H., Hall, M. N. & Vander Bilt, J. Estimating the prevalence of disordered gambling in the United States and Canada: a research synthesis. *Am. J. Publ. Health* **89**, 1369–1376 (1999).
- 2) Kessler, R. C. et al. DSM-IV pathological gambling in the National Comorbidity Survey Replication. *Psychol. Med.* **38**, 1351–1360 (2008).
- 3) Wardle, H. et al. *British Gambling Prevalence Survey 2010* (Her Majesty's Stationery Office, 2011).
- 4) Erbas, B. & Buchner, U. G. Pathological gambling: prevalence, diagnosis, comorbidity, and intervention in Germany. *Dtsch. Arztebl. Int.* **109**, 173–179 (2012).
- 5) Delfabbro, P. & King, D. Gambling in Australia: experiences, problems, research and policy. *Addiction* **107**, 1556–1561 (2012).
- 6) Wong, I. L. & So, E. M. Prevalence estimates of problem and pathological gambling in Hong Kong. *Am. J. Psychiatry* **160**, 1353–1354 (2003).

公営競技投票の購入手段

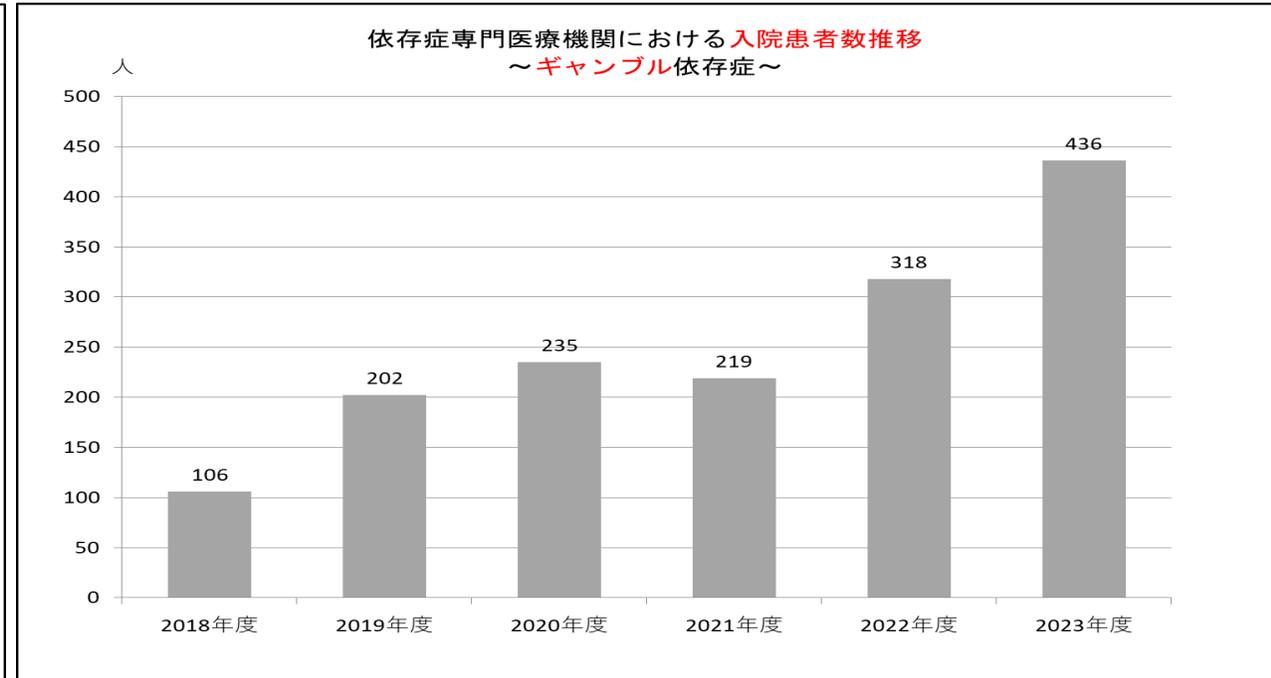
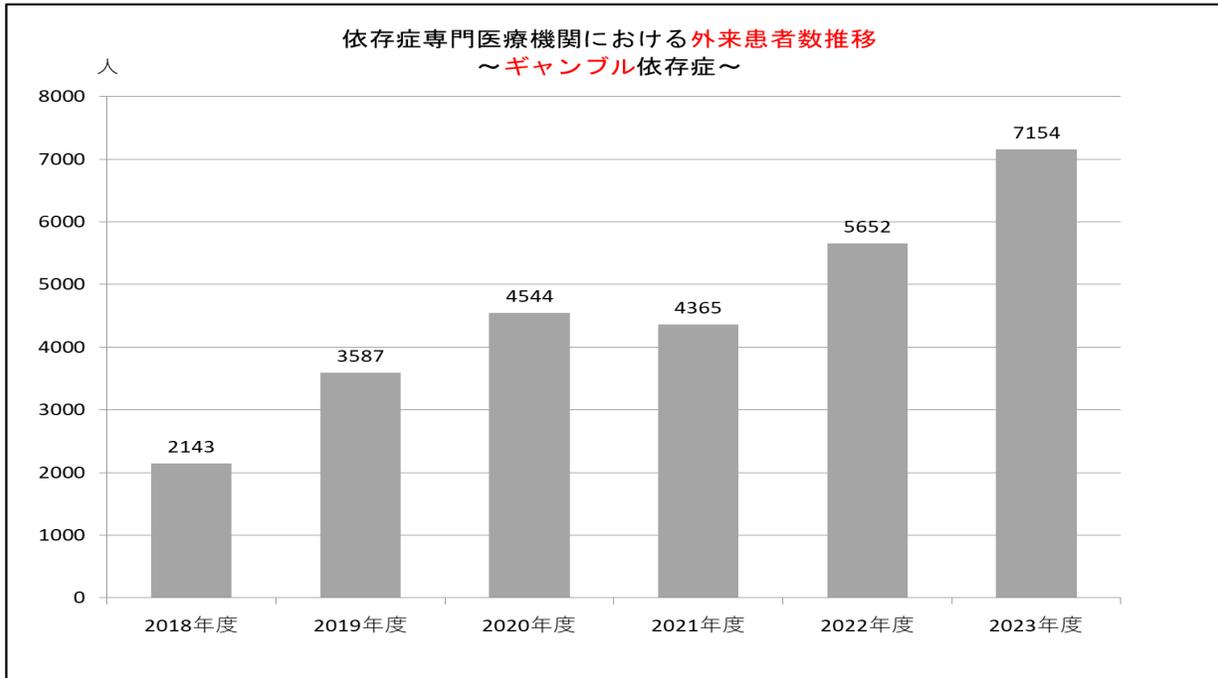


令和5年度「国民の娯楽と健康に関するアンケート」久里浜医療センター

<https://www.ncasa-japan.jp/pdf/document97.pdf>

専門医療機関のギャンブル依存症受診者数 (外来・入院)

依存症専門医療機関におけるギャンブル依存症の外来・入院患者は年々増加している。

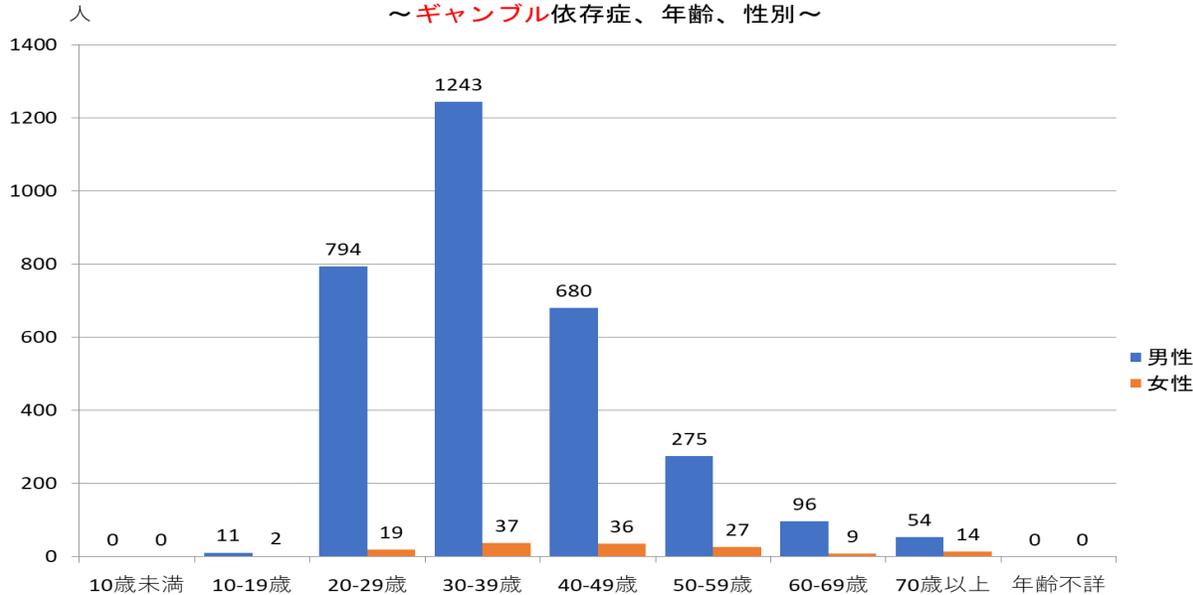


※ 各年度の診療実績報告があった医療機関（括弧内）の集計データ。このため、ギャンブル専門ではない薬物専門医療機関のギャンブル依存症患者数等も含まれる。
2018年度：（アルコール 93、薬物 59、ギャンブル 46）報告の集計。平成31年3月時点で専門医療機関数はアルコール 90、薬物 35、ギャンブル 29。
2019年度：（アルコール 157、薬物 94、ギャンブル 80）報告の集計。令和2年3月時点で専門医療機関数はアルコール 158、薬物 61、ギャンブル 65。
2020年度：（アルコール 190、薬物 117、ギャンブル 98）報告の集計。令和3年3月時点で専門医療機関数はアルコール 188、薬物 75、ギャンブル 84。
2021年度：（アルコール 207、薬物 123、ギャンブル 107）報告の集計。令和4年3月時点で専門医療機関数はアルコール 198、薬物 119、ギャンブル 103。
2022年度：（アルコール 228、薬物 141、ギャンブル 123）報告の集計。令和5年3月時点で専門医療機関数はアルコール 217、薬物 136、ギャンブル 117。
2023年度：（アルコール 238、薬物 150、ギャンブル 133）報告の集計。令和6年3月時点で専門医療機関数はアルコール 227、薬物 145、ギャンブル 127。

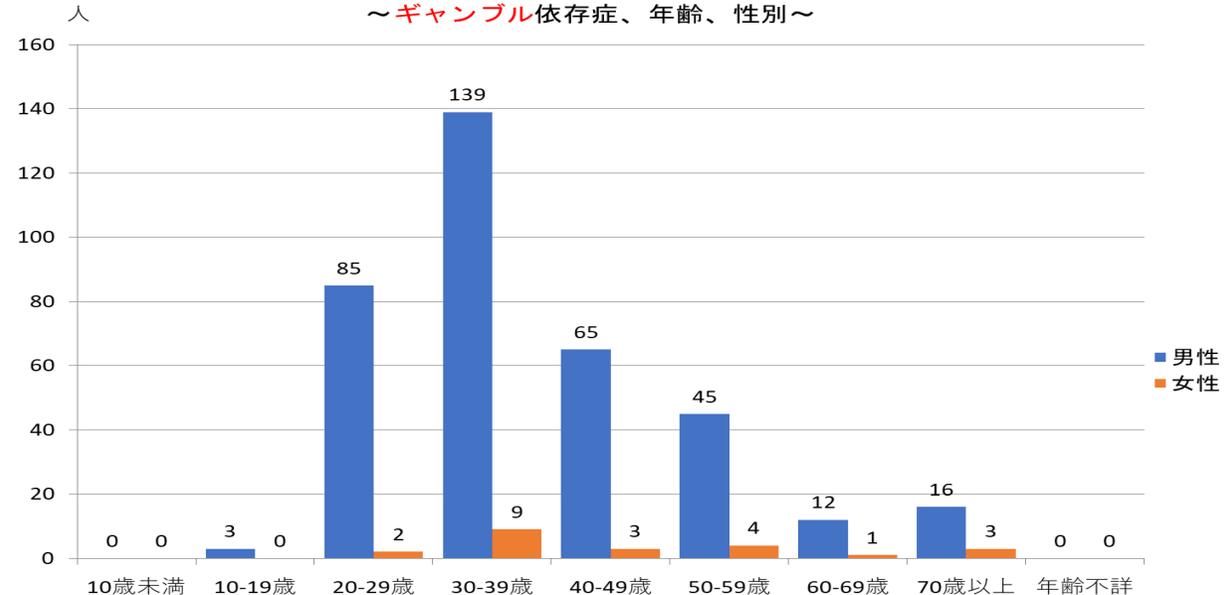
専門医療機関のギャンブル依存症受診者数 (2023年度、性・年齢別)

依存症専門医療機関におけるギャンブル依存症の新規外来・入院患者では、20～40代の男性が全体の9割以上を占める

【2023年度】依存症専門医療機関における新規受診患者数
～ギャンブル依存症、年齢、性別～



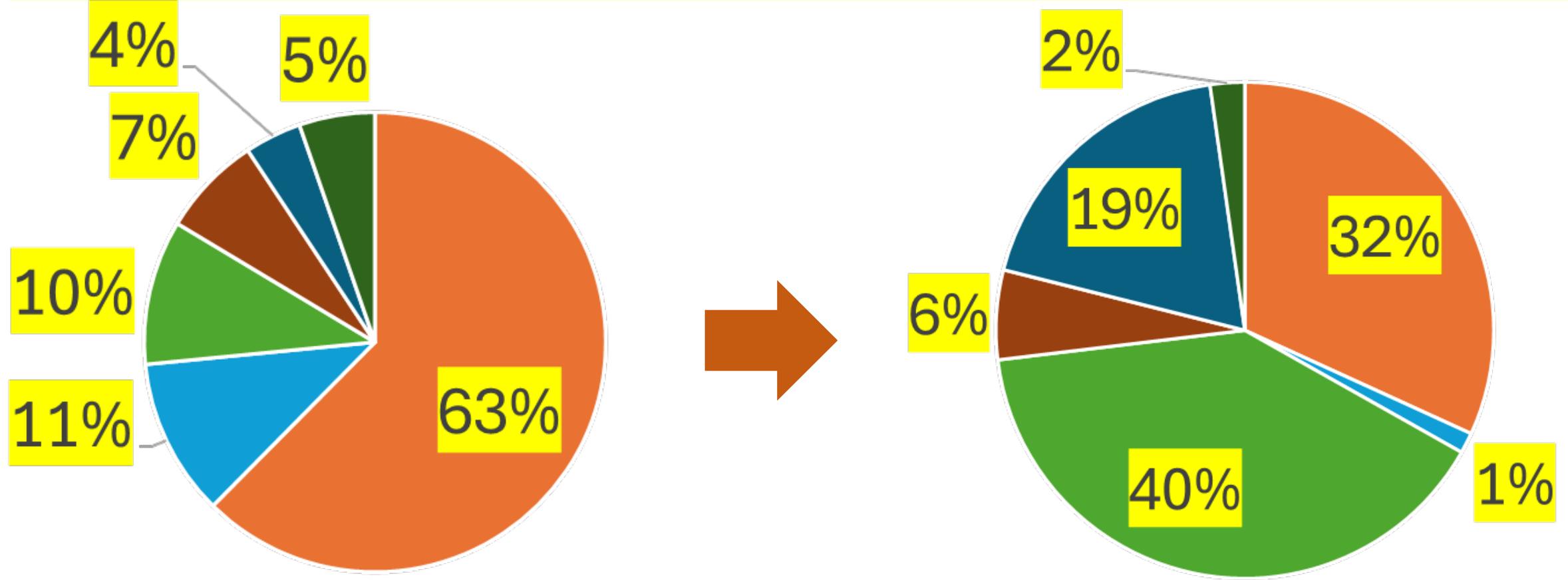
【2023年度】依存症専門医療機関における入院患者数
～ギャンブル依存症、年齢、性別～



※ 各年度の診療実績報告があった医療機関（括弧内）の集計データ。このため、ギャンブル専門ではない薬物専門医療機関のギャンブル依存症患者数等も含まれる。
 2018年度：（アルコール 93、薬物 59、ギャンブル 46）報告の集計。平成31年3月時点で専門医療機関数はアルコール 90、薬物 35、ギャンブル 29。
 2019年度：（アルコール 157、薬物 94、ギャンブル 80）報告の集計。令和2年3月時点で専門医療機関数はアルコール 158、薬物 61、ギャンブル 65。
 2020年度：（アルコール 190、薬物 117、ギャンブル 98）報告の集計。令和3年3月時点で専門医療機関数はアルコール 188、薬物 75、ギャンブル 84。
 2021年度：（アルコール 207、薬物 123、ギャンブル 107）報告の集計。令和4年3月時点で専門医療機関数はアルコール 198、薬物 119、ギャンブル 103。
 2022年度：（アルコール 228、薬物 141、ギャンブル 123）報告の集計。令和5年3月時点で専門医療機関数はアルコール 217、薬物 136、ギャンブル 117。
 2023年度：（アルコール 238、薬物 150、ギャンブル 133）報告の集計。令和6年3月時点で専門医療機関数はアルコール 227、薬物 145、ギャンブル 127。

久里浜医療センター初診時、主に行っているギャンブル

COVID-19パンデミック前後で、初診患者におけるオンラインギャンブル（公営、非合法）の割合が14%→59%に上昇した。



2017/4～2019/3に当院初診した患者(N = 226)

2022/6～2024/5に当院初診した患者(N = 223)

■ パチンコパチスロ
■ FXなど

■ 公営ランドギャンブル

■ 公営オンラインギャンブル

■ 非合法オンラインギャンブル

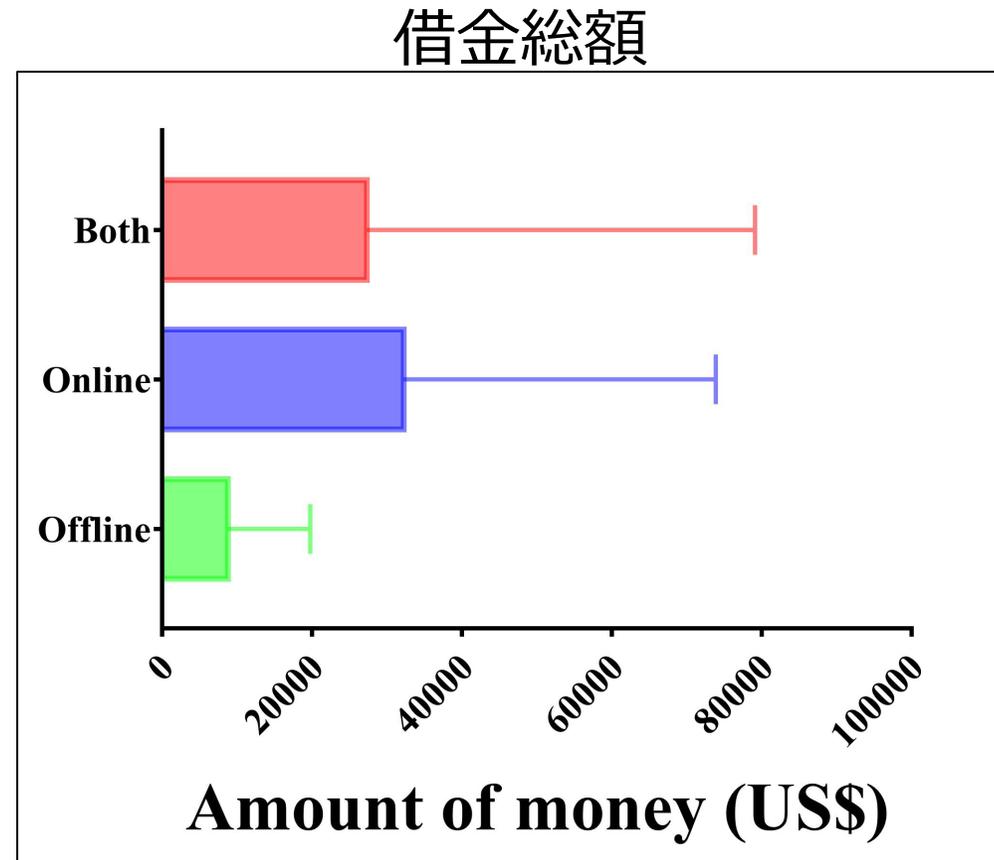
■ 非合法ランドギャンブル

オンラインギャンブルの危険性

オンラインギャンブルの臨床的特徴

対象：2021年2月8日～9月20日ギャンブル依存症専門治療を行っている20施設を受診した20-65歳の患者183例。
対象者のギャンブルは、主にオフライン(33.5%)、主にオンライン(42.1%)、オンラインとオフラインの両方(24.4%)であった。
オンラインギャンブルをする患者は、オフラインギャンブルよりも、

○年齢が若い。○1日でより多くの金を手に入れる。○1日でより多くのお金を失う。○借金総額が多い。○ギャンブルに夢中になる。
傾向がみられた。



F = 8.7, p < 0.001

Matsushita S, et al, unpublished data

問題のあるギャンブルの割合

- 全世界で、成人の46.2%、青少年の17.9%が過去12ヶ月間にギャンブルを経験し、経験割合は女性よりも男性が高い。
- 成人では、1.41%が問題のあるギャンブルに該当。
- ギャンブルの種別にみると、オンラインカジノまたはスロット（15.8%）で問題のあるギャンブルの割合が最も高い。

オンラインギャンブルの危険性

- 一般成人における問題のあるギャンブルと危険因子の関連
- 2012年1月～2019年3月に発表された一般成人を対象とした104本の調査研究についてのメタアナリシス。
- オンラインギャンブルは、あらゆる因子の中で最大リスク。
- 継続的にプレイできるギャンブル（例：スロット、ポーカー）も高リスク。
- インターネットギャンブルは、問題のあるギャンブルの最も強いリスク因子の一つ。

まとめ

- ギャンブル依存症の相談・治療件数は年々増えており喫緊の課題である。
- オンラインギャンブルは、いつでもできるアクセスのしやすさ、継続性などにより依存リスクが高くなる可能性がある。
- 政府は、国内のギャンブルだけでなく、世界と容易に繋がるオンラインギャンブルの監視や規制に注意を払う必要があると考える。